

a. 子供の頃の夢は色褪せない落書きで  
 思うまま書き滑らせて描く未来へとつながる

澄み渡る空 果てしないほど青く  
 無邪気な心に 充たされ魅かれてく

b. やがて自由に飛びまわれる翼を手に入れて  
 無垢な瞳は求めてく 空の向こうへ行きたいな

c. 止め処ない願いから一つだけ叶うのなら  
 誰にも譲りたくはない夢を掴みたいと思うよ

子供の頃の夢は色褪せない落書きで  
 いつまでも描き続けられた願う未来へとつながる

鐘が鳴る音 遠くから聞こえてくる  
 素直な心に 届いては響いてる

光りは七色に変わって弧を描いてゆく  
 無垢な瞳は求めてく 虹の向こうへ行きたいな

d. 止め処なく願うほど忘れないでいたいこと  
 支えてくれる人がいて夢を見ることができるから

a. b. c. d. a. 子供の頃の夢は色褪せない落書きで…

a. こどものころのゆめは いろあせないらくがきで  
子供 頃 夢 色褪 落書

おも うまま かきすべらせて えがく みらいへとつながる  
思 書 滑 描 未来

すみわたる そらは てしないほど あおく  
澄 渡 空 果 青

むじゃきな ころに みたされ ひかれてく  
無邪気 心 充 魅

b. やがて じゅうに とびまわれる はねを てに 入れて  
自由 飛 翼 手 入

むくなひとみは もとめてく そらのむこうへ いきたいな  
無垢 瞳 求 空 向 行

c. とめどない ねが いから ひとつだけ かなうのなら  
止 処 願 一 叶

だれにも ゆずりたくはない ゆめをつかみたいとおもうよ  
誰 譲 夢 掴 思

こどものころのゆめは いろあせないらくがきで  
子供 頃 夢 色褪 落書

いつまでも かきつづけられた ねがう みらいへとつながる  
描 続 願 未来

かねがなる おと とおくから きこえてくる  
鐘 鳴 音 遠 聞

すなおな ころに とどいては ひびいてる  
素直 心 届 響

ひかりは なないろに かわって こを えがいてゆく  
光 七色 変 弧 描

むくなひとみは もとめてく にじのむこうへ いきたいな  
無垢 瞳 求 虹 向 行

d. とめどなく ねがうほど わすれないで いたいこと  
止 処 願 忘

ささえてくれるひとがいて ゆめを みる ことができるから  
支 人 夢 見

a. b. c. d. a. こどものころのゆめは いろあせないらくがきで …  
子供 頃 夢 色褪 落書